

10:45 ~ 10:50	<b>開会の挨拶</b>
	当番世話人 井上 善文（大阪大学 国際医工情報センター 栄養デバイス未来医工学共同研究部門）
10:50 ~ 11:50	<b>セッション1 『CVポート留置の現状』</b>
	座長： 曹 英樹（大阪府立母子保健総合医療センター 小児外科） 目黒 英二（函館五稜郭病院 臨床検査科）
	<b>SS1-1 当院におけるCVポート留置の現状と問題点</b> 野呂 浩史（独立行政法人 地域医療機能推進機構（JCHO） 大阪病院）
	<b>SS1-2 当院におけるCVポート留置の現状</b> 三隅 俊博（独立行政法人 国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター 外科）
	<b>SS1-3 当院における上腕穿刺中心静脈カテーテルポートの日帰り手術の導入</b> 飯塚 堯（函館厚生院 函館五稜郭病院 初期研修医）
	<b>SS1-4 PICCカテーテル挿入用デバイスを利用したエコー下穿刺による上腕CVポート挿入の経験</b> 木許 健生（神戸海星病院 外科、乳腺外科）
12:00 ~ 13:00	<b>特別講演（ランチョンセミナー）『本気で患者さんに寄り添う在宅栄養管理の実践』</b>
	座長： 西口 幸雄（大阪市立総合医療センター 消化器外科） 演者： 杉本 由佳（すぎもと在宅医療クリニック 院長） 共催： ニプロ株式会社
13:15 ~ 13:25	<b>事務連絡</b>
	当番世話人 井上 善文（大阪大学 国際医工情報センター 栄養デバイス未来医工学共同研究部門）
13:25 ~ 14:40	<b>セッション2 『CVポート留置の現状と留置技術』</b>
	座長： 秀村 晃生（関東労災病院 外科） 下地 英明（琉球大学大学院 消化器・腫瘍外科学講座）
	<b>SS2-1 中心静脈ポート造設外来の運用と課題</b> 西山 浩司（藍野病院）
	<b>SS2-2 ポート外来の実情 医療連携の窓口としての役割</b> 大菊 正人（浜松医療センター）
	<b>SS2-3 当院における若手外科医によるCVポート挿入症例の検討</b> 出口 惣大（大阪市立総合医療センター 消化器外科）
	<b>SS2-4 外頸静脈経路で行う安全・確実な中心静脈ポート留置術</b> 香川 哲也（三原赤十字病院 外科、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器外科学）
	<b>SS2-5 皮下埋め込み式中心静脈ポート(CVポート)留置時の超音波ガイド下静脈穿刺法の有用性について～pinch off回避の観点から～</b> 大澤 日出樹（地域医療推進機構（JCHO） 大阪病院 外科）
14:40 ~ 15:40	<b>企業PRプレゼンテーション</b>
	司会： 星 智和（医療法人 中島病院 外科）
15:40 ~ 16:25	<b>セッション3 『合併症と長期留置の工夫』</b>
	座長： 眞次 康弘（県立広島病院 栄養管理科・消化器外科） 松木 淳（新潟県立がんセンター 消化器外科）
	<b>SS3-1 CVポートからの化学療法中血栓性静脈炎を発症した1例を振り返って</b> 吉村 幸永（国立病院機構 別府医療センター）
	<b>SS3-2 CVポートの皮下トンネル経路が原因と考えられたカテーテル抜きの1例</b> 吉川 正人（医療法人愛心会 東宝塚さとう病院 外科）
	<b>SS3-3 クロウン病に対するHPN症例におけるCVポート管理履歴</b> 井上 善文（大阪大学 国際医工情報センター 栄養デバイス未来医工学共同研究部門）
16:35 ~ 17:20	<b>セッション4 『カテーテル管理の工夫』</b>
	座長： 伊藤 和史（京都大学医学部附属病院） 野呂 浩史（独立行政法人 地域医療機能推進機構（JCHO） 大阪病院）
	<b>SS4-1 在宅栄養を目指した難治性悪性消化管閉塞の治療戦略 薬剤コンビネーション治療とCVポートでの栄養管理</b> 天野 晃滋（大阪市立総合医療センター 緩和医療科）
	<b>SS4-2 カテーテル閉塞に対するシリンジ圧負荷による閉塞解除手技の検証</b> 勝山 晋亮（大阪大学消化器外科学、次世代内視鏡治療学）
	<b>SS4-3 産婦人科における末梢挿入式中心静脈カテーテルの検討</b> 鈴木 理絵（横浜医療センター 産婦人科）
17:20 ~ 17:55	<b>CVポート調査結果報告</b>
	井上 善文（大阪大学 国際医工情報センター 栄養デバイス未来医工学共同研究部門）
17:55 ~ 18:00	<b>閉会の挨拶</b>
	当番世話人 井上 善文（大阪大学 国際医工情報センター 栄養デバイス未来医工学共同研究部門）